

## 海外博物館情報

### ◎企画展・特別展

■英ニューカッスル科学博物館で、「科学・技術に貢献した女性達 国立肖像画美術館所蔵品展」を開催中

2013年3月8日から、イングランド地方の北部の都市ニューカッスルの科学博物館で、イギリスの科学と技術の発展に貢献した女性達の業績を紹介した企画展が、開催されている。24人の女性の業績が、ロンドンにある国立肖像画美術館所蔵のポートレート写真等で紹介され、石炭やグラファイト、DNA、タバコモザイクウイルスの化学構造の解明に貢献した物理化学者、結晶学者のロザリン・フランクリン（1920～1958）をはじめ、難病であるデュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療に貢献した遺伝学者ケイ・ディヴィス（1951～）が含まれている。同展は16歳から19歳までの女子を対象に、科学・技術分野への進路に関心をもってもらうことがねらいになっている。9月29日迄。

Trailblazers: a celebration of remarkable women in science.

Discovery Museum, Newcastle.

<http://www.twmuseums.org.uk/discovery/whats-on/exhibitions/trailblazers.html>

■米フィラデルフィア自然科学アカデミーで、「マーク・ライタ写真展 世界の美しいヘビ」を開催中

2013年6月15日に、フィラデルフィア自然科学アカデミーで、写真家マーク・ライタによる写真展「世界の美しいヘビ」が開幕した。ライタは、広告写真をはじめ、風景写真や生物写真まで広く手がけている写真家として知られているが、今回ヘビの造形的な美を追究した図録「Serpentine」の出版にあわせて、今回の写真展が企画された。同展では、新大陸を代表する美しいホンジュランミルクスネークをはじめ、あまり見かけることがないブラックパキスタンコブラを含め、世界各地の美しいヘビが写真で紹介されている。9月22日迄。

Serpentine.

Academy of Natural Sciencee, Philadelphia.

<http://www.ansp.org/visit/exhibits/serpentine/>

<http://www.wired.com/rawfile/2013/02/mark-laitaserpentine/>

■米フロリダ自然史博物館で、「古代の巨大ヘビ・ティタノボア」展を開催中

2013年1月26日から、ゲインズヴィルのフロリダ自然史博物館で、かつて新生代古第三紀暁新世に、現在の南米コロンビアで生息していた大蛇ティタノボアを紹介した企画展が開催されている。地下の石炭層から発見された化石からの推定によると、全長が約16mで体重が1,134キログラムもあったようだ。8月11日迄。

Titanoboa: Monster Snake.

Florida Museum of Natural History, Gainesville.

<http://www.flmnh.ufl.edu/exhibits/limited-time-only/titanoboa-monster-snake/>

■米アメリカ自然史博物館で、「ジム・デ・リヴィリエ写真展 蛾の美」を開催中

2012年9月29日から、ニューヨークのアメリカ自然史博物館で、ガ（蛾）を撮影した写真展が開催されている。作品は、蛾の写真を数多く写してきたことで知られているカナダの写真家ジム・デ・リヴィリエが、オタワ周辺で生息している蛾をカメラに収めたものだ。同展は、カナダ自然博物館が企画制作し、ロイヤル・アルバータ博物館（カナダ）を皮切りに、アメリカ自然史博物館の後に、世界各地を巡回する予定だ。9月29日迄。

Winged Tapestries: Moths at Large.

American Museum of Natural History, New York.

<http://www.amnh.org/calendar/winged-tapestries-moths-at-large>

<http://nature.ca/en/about-us/museum-news/news/press-releases/new-york-debut-canadian-museum-natures-moths-large-exhibition>

■米パーク博物館で、「エルワー川の再生」展を開催へ

2013年11月23日から、シアトルのワシントン大学パーク博物館で、同州のオリンピック半島を流れるエルワー川（全長約72キロ）の再生をテーマにした企画展が開催される。同展では、水力発電を目的に建設された二つのダム（1913年完成のエルワー・ダムと1927年完成のグライズキャニオンダム）が、いかに環境を破壊し、流域に住む人々（先住民を含め）の生活を奪ったかを紹介し、さらに川のエコシステムの再生を決めた連邦政府の決定と2011年9月から始まったダムの撤去工事の様子、および川の再生計画のビジョンが紹介されることになっている。同展は、シアトルの地元紙「シアトル・タイムズ」のリンダ・メイプス記者とダムによる深刻な環境破壊の様子を長年撮影してきた写真家スティーブ・リングマンの協力を得て企画制作され、同館での閉幕後、全米各地を巡回することになっている。同展では、リングマンが撮影した写真と、ダムによってサケ漁という

重要な生活基盤を失った先住民族に関連資料（同館所蔵品）が展示されることになっている。2014年3月9日迄。

Elwha: A River Reborn.

University of Washington Burke Museum, Seattle.

[http://www.burkemuseum.org/exhibits/browse/elwha\\_a\\_river\\_reborn](http://www.burkemuseum.org/exhibits/browse/elwha_a_river_reborn)

#### ■英ロンドン科学博物館で、写真専用の展示室をオープンへ

2013年9月21日にロンドン国立科学博物館で、写真を専用とした展示室がオープンする。

「メディア・スペース」と呼ばれる新しい写真展示室では、ブラッドフォード市にある国立メディア博物館が所蔵する写真コレクション「National Photographic Collections」の写真作品が企画展として紹介されることになっており、国立メディア博物館の企画によって、現代の著名な写真家や新進の写真家の作品を紹介した企画展が計画されている。「メディア・スペース」と呼ばれる新しい写真展示室は500㎡の面積をもち、同館の2階に設けられる。オープニング記念展として、現代イギリスを代表する写真家マーティン・パー（1952～）とトニー・レイ＝ジョーンズ（1941-1972）の作品展「オンリー・イン・イングランド Only in England」が開催される（2014年3月16日まで）。写真展示室の総工費：400万ポンド。計画されている展覧会には、日本の写真家・杉本博司の写真展が含まれている。

Media Space / Only in England.

Science Museum, London.

[http://www.sciencemuseum.org.uk/about\\_us/masterplan/media\\_space\\_in\\_depth.aspx](http://www.sciencemuseum.org.uk/about_us/masterplan/media_space_in_depth.aspx)

#### ◎新しい常設展

##### ■米シカゴ科学産業博物館で、常設展「自転車の美」をオープン

2013年3月22日に、シカゴ科学産業博物館で、自転車の歴史と、市場で最も注目されている最新の自転車を紹介した常設展示がオープンした。歴史の展示では、同館の収蔵品の中から9台の歴史的な自転車が展示され、最新の自転車を紹介するコーナーでは現在市場で最も注目すべき自転車14台が展示されている。歴史的展示の中には、1818年にドイツ人が発明した、ペダルを持たない木馬のようなドライジーネ型が選ばれ、また最新の自転車には段ボールで制作したユニークなものが選ばれている。いずれの展示品も、重要な技術的な特徴とひと目を引くデザインの美しさで選ばれている。

The Art of the Bicycle.

Museum of Science and Industry, Chicago.

<http://www.msichicago.org/whats-here/exhibits/art-of-the-bicycle/>

■米ボストン科学博物館で、常設展「ひとの生命」をオープンへ

2013年11月16日に、ボストン科学博物館で、「ひとの生命」という常設展示がオープンする予定だ。同展は、「ひとは生命をいかにして理解してきたか」をテーマにしており、生物学と生命工学の分野における、最新の研究成果が紹介される。展示規模：約1,000㎡。展示デザイン・施工：ケンブリッジ・セブン・アソシエーツ社（1962年設立）。Hall of Human Life.

Museum of Science, Boston.

<http://www.mos.org/exhibits/hall-human-life>

■米ロサンゼルス自然史博物館、常設展「都市の形成：ロサンゼルスの場合」をオープンへ

2013年7月14日に、ロサンゼルス自然史博物館で、ロサンゼルス都市の形成をテーマにした常設展示がオープンする。1,400㎡の展示では、ロサンゼルスと周辺の発展にともなった周辺の生態系の変化が紹介されることになっている。

Becoming Los Angeles.

Natural History Museum of Los Angeles County.

<http://www.nhm.org/site/explore-exhibits/permanentexhibits/becoming-los-angeles>

◎ 短信

■エクスプロラトリウム、移転・新装開館（2013年4月17日）

新しい住所：Pier 15, San Francisco.

Exploratorium, San Francisco.

<http://www.exploratorium.edu/>

■イタリア・ナポリ科学館、火事で全焼（2013年3月4日）

Citta della Scienza, Napoli.

<http://www.cittadellascienza.it/>

出典

Japanese Council of Science Museums Newsletter

海外博物館事情 No.116

執筆 安井 亮 氏